

12

特集 疾患・手術方法から理解をつなげる！

脳神経外科手術の合併症と術後ケア

# 看護に役立つ MSW の知識

田中志保

独立行政法人 労働者健康福祉機構 東京労災病院 医事課 医療相談室, 医療ソーシャルワーカー



## Point

- 1 医療・介護の機能分化を理解しましょう。
- 2 患者・家族が、実際に社会保障・福祉制度を活用していけるように援助することが重要です。
- 3 常に退院後の患者の生活をイメージし、地域と連携して、患者・家族を援助していくことが重要です。

## はじめに

医療ソーシャルワーカー (MSW) とは、保健・医療機関において、社会福祉の立場から患者・家族などの抱える不安や生活課題に対して、ともに考え、院内外の職員・機関と連携を取りながら、問題の解決・調整を援助していく専門職です。

主な援助内容として、①療養中の心理・社会的問題の解決・調整援助、②退院援助、③社会復帰援助、④受

診・受療援助、⑤経済的問題の解決・調整援助、⑥地域活動があります。

近年の少子高齢化・急性期病院の在院日数短縮、国による医療費削減政策の影響があり、急性期病院の MSW 業務は、前述の①～⑥のなかの、②退院援助が7～8割を占めています。また、不況に伴い、⑤経済的問題の解決・調整援助が必要な人が非常に増加しています。

MSW は、医療制度改革などを把握し、公的な (フォーマルな) 社会資源 (社会保障・福祉制度など) やインフォーマルな社会資源 (地域・知人など) を活用して、援助を行っていきます。本章では、医療・介護を取り巻く厳しい現状と、社会保障・福祉制度、MSW の視点について述べます。

## 医療・介護の機能分化

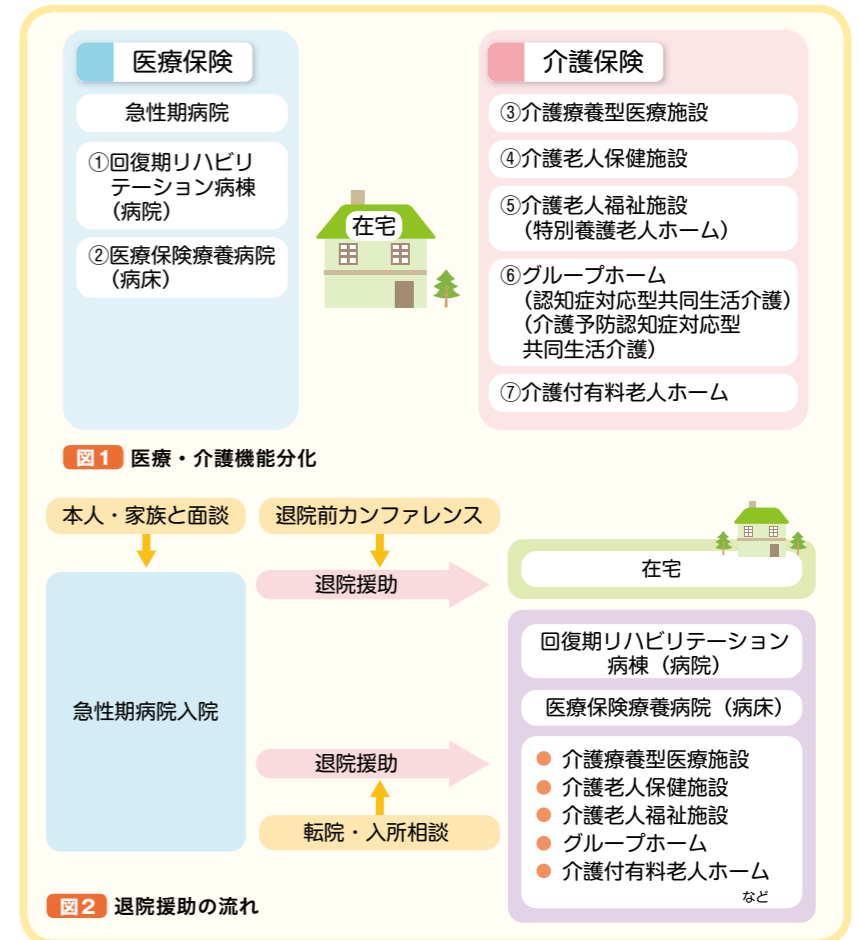
2000年4月に介護保険法が施行されました。また、医療法改正により2000年から療養病床と一般病床に区分されるようになりました。ここ10年ほどで、医療・介護を取り巻く状況は大きく変化しており、2012年現在、図1のように医療・介護の機能分化が行われています。

### 療養病床の再編・廃止

2006年の医療制度改革で厚生労働省は、それまで38万床あった療養病床を15万床にまで減らすという大幅な削減方針を打ち出しました。介護療養型医療施設は介護施設への移行などの機能転換を行い、2011年度末に廃止される予定でした。しかし、移行などが予想どおりに進まず、廃止期限を6年間延期して2017年度末とする方針となりました。

### 各施設の特徴

各施設で、受入条件・受入期間・費用などが違います (表1・表2)。MSW は、患者の状態を常に把握し、どの施設が適切かを検討します。そして、患者・家族の意向を確認したうえで、各施設へ相談します。相談から受入に至るまで、1か月以上かかる場合が多いのが現状です。介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) においては、その待機期間は年単位といわれます。



### 回復期リハビリテーション病棟

2000年の診療報酬改定時に新設された回復期リハビリテーション病棟は、家庭や職場への復帰などを目的として、リハビリテーションを集中的に行うための病棟です。

対象疾患・転院までの期間・入院可能な期間が、診療報酬上で決められています (表3)。転院までの期間が決められているため、発症・手術の日付 (起算日) を正確に把握し、相談を進めていかなければなりません。

### 退院援助

急性期病院での治療が終了すると、患者・家族は次の療養先を選択しなければなりません。MSW は、まず患者や家族の気持ちを受け止め、現状の医療・介護の機能分化・制度などを理解してもらうため、説明・情報提供を行います。そして、患者・家族が今後の生活をイメージし、自分たちで生活課題に取り組み、適切な場へと退院できるように、ともに考え、援助を行っていきます (図2)。